

ばんと通信

BUNTO

VOL.160
2025.6.1



日本の音を守り整える手

きむら のりひと
木村 文人 さん

TOPICS

日本の音を守り整える手



きむら のりひと
木村 文人さん

(文) 広報事業委員 坂石 佳音

・写真 山口 貴史

木村文人さんの店が扱っているのは和楽器。70年ほど前、大工を生業としていた祖父が三味線職人になった。小売りはせず業界に卸していたが、二代目である父が「お客さんに直接売るのが良いのでは」と発案、西へ100メートルほど離れた工房横へ自宅を移し、そこに店舗も建てたのが現在の「箏・三味線工房直売木村和楽器製作所」の始まり。

工房では三味線の棹を作ってきた。花梨、紫檀、紅木といった硬い木を三分割し、形や用途の異なる数十種類にも及ぶ鉋や砥石などの道具を時には自作し駆使して、継手となるほぞを作り寸分も狂わぬ一本の棹にする。

三分割のメリットは持ち歩き易さもあるが、何より一本の木のままでと一ヶ所に発生した歪みが全体に波及するといった不具合を、繊維を断つことで最小限に留められるということだ。最後は拭き漆という手法で磨き上げる。硬く重く表面にト

チと呼ばれる波形の縞模様が細かく浮き出るほど良いものであるらしい。仕上がった棹は胴の職人から送られた胴に固定し、皮張り、糸巻、糸根緒といったそれぞれの職人の手仕事を経て、ひと棹の三味線が出来上がる。

最近は一からの製作は少ないが、「和楽器と付属品の販売、修理、箏の糸締めなど、和楽器に関することは何でもお声がけください」ということで、三重や近畿だけではなく岐阜などから依頼が来ることも。

学校への貸し出しは箏なら一度に20面ほど。すぐに音が出せるように現場で調弦を施す。譜面は『yukkyu』、糸の番号が記してあるので、そのとおりに爪弾けば自然と音楽になる。体験授業後は回収して手入れを施す。和楽器の材料である木や皮や絹糸や、今は樹脂製が多くなったが象牙や鼈甲などの材料はどれも生き物だから「おつかれさま」と、つや布巾をかける。

8月2日、伊賀市文化会館でコンサートや楽器体験等のイベント「伊賀市文化会館まるごと音楽フェスタ」を開催、木村和楽器製作所の和楽器も登場する。木村さんの整える日本の音に触れてみませんか。

クラシック
コラム

音が音楽になる瞬間

これまでオーケストラでの公演をはじめ、ソロでの親子向けコンサートや、子どもたちと一緒に楽器を作るワークショップなど、さまざまな場面で伊賀の皆さんと交流させて頂いています。毎回感じるのは、音楽に丁寧に向き合ってくださる方が多いということです。

演奏会のあと、「ありがとう、楽しかった」と掛けてくださる声、小さな子どもが目輝かせて音に耳を傾ける姿、自分で作った楽器から初めて音を出したときの驚きと喜び——そうした一つひとつの瞬間は音楽に取り組むうえでの大きな励みです。

トロンボーンとの出会いは、中学校の吹奏楽部でした。この楽器の持つ、言葉以上に思いをそのまま音にできるような柔らく深い、それでいて明るく輝かしい響きに魅了されて以来、国内外のさまざまな場所を訪れ、人と出会い、音を届けるこの仕事に就いた今も、大きな喜びとやりがいを感じています。

かねてから奏者が独りで奏するのは「音」、聞いてくださる方がいてはじめて「音楽」になると思っています。伊賀のまちでも何度となく経験してきた音楽が言葉をも超えて、直接心に響く瞬間をこれからも伊賀市の皆さんと分かち合えたらうれしく思います。



© 飯島 隆

大阪交響楽団
トロンボーン副首席奏者
やまき まさてる
矢巻 正輝

伊賀
盛り上げ隊

贈るように、つくる。

いつき たかし
居附 孝志さん・未希さん

「あの人を喜ばせたい。デザインの源流は、誰かにプレゼントをすることに似ているのだと思います」

そう語るのは、itsuki tm designを主宰する居附孝志さん。その語りを、春の陽気のような穏やかな表情で妻の未希さんが聞いている。

孝志さんと未希さんは、大阪でデザイナーとしての経験を積んだ後、未希さんの故郷・伊賀に拠点を移し、3年前にitsuki tm designを立ち上げた。以来、二人三脚でチラシやパンフレットなどの制作を手がけている。

その仕事ぶりには、他者への信頼と思いがやがにじむ。たとえば、ある事業者のパンフレット制作では、孝志さんが中心となって、事業者の思いや歴史を丁寧に聞き取っていく。何を、誰に、どう伝えたいのか——ヒアリングをもとに、言葉を探し、整理し、言語化する。これが孝志さんのコンセプトメイキングの仕事だ。



そして、そこからは未希さんの出番となる。グラフィックデザイナーとして手を動かし、紙面を仕上げていく。彼女もまた、依頼者との対話を大切にしている。相手の人柄や、醸し出す空気感。その人自身が制作物に滲み出るように、そっと寄り添う。

昨今、どこでも手軽にデザインが作れる時代だ。いわば、ファストフードならぬ「ファストデザイン」とでも言えるだろう。そんな中で、手間ひまをかけ、一つひとつ仕上げていく居附夫妻の姿は、少し異色かもしれない。

「私たちのモットーは、茶飲み友達を増やすことです」そう語る未希さんに、孝志さんが付け加える。

「お茶を飲めるくらいの距離感で、仕事がしたいんです。それくらい踏み込んだ関係だからこそ、その人の思いや伝えたいことを理解できると思うんです」

今では、未希さんの実家の米づくりも手伝うようになったという。米づくりは、手塩にかけなければできないもの。居附夫妻のデザインもまた、そうした丁寧な時間の積み重ねで生まれている。伊賀で暮らし、食べ、働く——そんな日々の営みが、仕事にも静かに息づいているようだった。

(文) 広報事業委員 堤 真人

・写真 山口 貴史

夢ing

私が「挑戦」し続ける理由

伊賀市在住 高森 星さん
たかもり あかり

現在、関西を拠点にダンスインストラクター・振付師・ディレクターとして活動しています。ジャズやコンテンポラリーをベースに、アーティスティックかつ独創的な振付や構成、高い身体能力を生かした唯一無二の世界観を創り出し、日本国内にとどまらず海外からも評価をいただいています。

また、自身の表現活動だけでなく、小・中・高校生の育成やプロデュースにも力を入れており、全国大会で優勝するチームの指導も行っています。

私の原点は、小学生の頃から出場してきたダンスコンテストや、さまざまなことへの挑戦にあります。その道のりは決して平坦ではなく、思うように結果が出なかったり、壁にぶつかることの方が多かったように思います。

それでも、私は「挑戦すること」をやめませんでした。なぜなら、

進んだ新しい自分に出会えると信じているからです。そして、努力を積み重ね、挑戦し続けた先にしか見られない景色や感動があると知っているからです。

もちろん、時には立ち止まりたくなることもあります。でもそんな時こそ、自分と対話し、また前を向いて歩き出したいと思うのです。私の挑戦が、誰かの「一歩踏み出す勇氣」や「きっかけ」になったら、それほど嬉しいことはありません。

そして、どんな時も支えてくれている周囲の方々への感謝の気持ちと、常に謙虚な姿勢を忘れずにいたいと思います。

これからも、心がワクワクする方へ向かって、私なりの「挑戦」を続けていきます。

(文・写真 本人寄稿)



『満員電車とギターの問題』

伊藤たかみ

高校生になった息子が、貯めたお金でギターを買おうとしている。何か悩みもあるようなのでたずねてみたら、ギターの種類ではなく、学校にどうやって持っていくか考えていたとのこと。どうにも取り越し苦労な話だが、大きなギターを抱えてラッシュ時の山手線に乗り込んでいくのは確かに恐ろしい。

さて、今からウン十年前、高校生だった自分はこうしていたのだったか。当時の伊賀線、伊賀神戸から上野駅までの通学ラッシュは、山手線も目じゃなかった。あまりにもぎゅうぎゅう詰めにされるので、カバンが少しでも身体から離れてしまうと、到着駅まで引き寄せることもできない。腕を伸ばしたまま、桑町駅辺りまでこらえ続ける他はなかったくらいなのだ。

あの状況で、ギターを抱えて乗り込めたはずはない……。そう思うが、やっぱり何とかしていたはずだ。ぼんやりながら、文化祭が近づいてくると、始発近い電車で学校に通っていたような記憶もある。あれはギターと関係していたのだろうか。当時は眠すぎて、いろいろ忘れてしまったらしい。

ちなみに文化祭といえば、ちょうどその頃、上野天神祭も行われる。出店の立つ日は、バンド練習を早めに切り上げて街に出たのだった。銀座通りがまだ拡張されていなかったせいか、こ

れまた道路の歩道側がぎゅうぎゅうで、ギターを守るように抱えつつ、あちこち回ったものだ。今考えるとなんとまあ面倒なことをしているときれいだけれど、そもそも記憶の中にある上野市は、いつでもどこでも混雑していた。むしろ当時は、混雑をかえって楽しんでるようなふしもあった。

実際、今でも僕は混雑が好きだ。現

伊藤たかみの

だいたい
ええわさ

vol.36

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
「八月の路上に捨てた」(文藝春秋)で第135回芥川賞。
『ぎぶそん』(ポプラ社、坪田譲治文学賞)など児童書も手がける。

在住んでいる中野区も、都内では人口密度が2番目に高い(1番は豊島区)のだけれど、ごみごみしてるなあと辟易したことは一度もない。人が多いと、面白いことが起きそうでいい。気持ちに乗ってきて、いろんなアイデアも湧いてくる。嫌われものの混雑も、僕の身体はいいのだろう。

そこでふと、現在の伊賀の人口密度はどうなっているのかと思いついてみたところ、なぜか中国とほぼ同じだった。これって多いのか少ないのか。中国には、人が住むのに適さない砂漠や険しい自然が多いから、都市部にたくさん人が集まり、ごちゃごちゃしているように見えると聞いたことがある。でも、それをいうなら伊賀も同じで、大昔から少ない土地を巡る争いが絶えなかったとか何だとか、タモリの旅行番組で見たような気がする。

こうなってくると本当の上野の姿がわからなくなってくるが、僕としては記憶のままに、いつまでも混雑する街であってほしいと思うのだ。

ところで息子の問題の続きである。ギターを抱えて山手線は無理っぽいから、池袋までタクシードで行くかな、などと彼はいう。いやいや、タクシー登校なんてちっともロックじゃないだろと反論したくなったが、今どきギターだからロックだなんて、そういうのではないよと笑われそうをやめた。



BUNTO EVENT INFORMATION

伊賀市文化会館まると音楽フェスタ

ホールでのコンサートや、実際に楽器に触れて音を鳴らしたり、楽器を手作りしたり、子どもたちを中心に一日じゅう「音楽」に触れ、楽しめるイベントです。キッチンカーも登場します。

- 日 時 8月2日(土)
10:00 ~ 16:00
- 会 場 伊賀市文化会館
- 料 金 500円
※3歳以上有料
※飲食・ワークショップは別料金

※詳細は、チラシ等ご確認ください。



なるほど〜クラシック

交響曲・協奏曲・バレエ組曲の名曲 Vol.7

「クラシックのいろは2025」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー！この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし！！

Vol.29 協奏曲の魅力を味わう

～革新的な交響曲「英雄」と美しい旋律～

- 日 時 6月15日(日) 14:00～
※1時間程度
- 会 場 伊賀市文化会館 多目的室
- 料 金 無料(事前申し込み不要)
- 講 師 鳥居 明夫
(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)



子ども育成事業 IGAエンターテインメントミュージカル「サタンクロース☆」オーディション&ミュージカル体験ワークショップ

【オーディション募集要項】

- 対 象 小学3年生～高校3年生
- 定 員 20名程度 ※オーディション通過の出演者
- 開催日時 7月27日(日) 10:00～
※オーディション参加申込数により終了時間は未定
- 条 件 ①経験不問
②やる気があり、向上心をもって稽古に参加できる方
- 募集締切 7月10日(木)23:59
- 申込方法 専用申込フォーム
- 参加費 無 料
※ただし、通過者お一人につき5,000円必要
- 稽古期間 8月～12月(全28回の稽古予定)
- 本番日時 12月21日(日) 13:45開場(予定) 14:30開演(予定)
- 本番会場 伊賀市文化会館 さまざまホール
- 演出/振付/総合指導 山下 華子
(SOUL FLOWER ダンススタジオ主宰)

【オーディション内容】

- 必須課題(演技・うた・ダンスの3課目全て)

- 【演 技】 事前にセリフを郵送します。(7月20日着予定)
- 【う た】 ご自分の好きな歌を1コーラス程度。
マイクなしで歌っていただきます。
※カラオケの場合はCDのみまたはアカペラ
- 【ダンス】 オーディション当日、簡単な振付をします。

(注)募集定員に達していない場合でも、選考(演目に添ったキャストینگ選考)により、出演できない場合がございます。また選考結果についての個別対応はできません。あらかじめご留意ください。

※詳細はチラシまたは、ホームページをご覧ください。
<https://forms.gle/RHm6krRhwn2E1BTh6>



※写真はイメージです。
写真提供：ステージコラボレーションIGA



オーディション申込フォーム▲

キレイ♡アートフェスタ
in 伊賀市文化会館

伊賀市・名張市を中心に活動する作家さん達による作品展示・販売はもちろん、お子様でも体験できるものづくりワークショップや、癒しありの楽しいイベントです。特設ステージでは見応えのあるライブパフォーマンスも開催。

- 日 時 7月6日(日)
10:30 ~ 16:00
- 会 場 伊賀市文化会館
- 料 金 入場無料
※体験・販売等は有料



主催：キレイアートフェスタ！事務局

TOUCH THE STEINWAY
憧れのスタインウェイが弾ける

- 青山ホール 7月22日(火)
- 伊賀市文化会館 8月11日(月祝)
- 開催時間 青山ホール 10:00 ~ 17:00
伊賀市文化会館 10:00 ~ 17:00
- 参加費 1枠につき500円(1枠=30分)
- 参加人数 1枠につき2名まで(2枠の場合は4名まで)
- (注)青山ホールのみ2台のSTEINWAYピアノを使用する場合は、1枠につき別途500円が必要です。
- 募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
- 申込方法 6月14日(土) 11:00から電話受付
- 青山ホール ☎52-1109(水曜休館)
- 伊賀市文化会館 ☎24-7015(最終週火曜休館)
- ※受付初日は1回のお電話で2枠までの受付とします。
※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。
※申込者以外の演奏や舞台・客席への立ち入りはご遠慮ください。
※楽器等の持込みはご遠慮ください。

リラックスタイムコンサート Vol.4
in ヒルホテルサンピア伊賀グリンテラス

- 日 時 7月11日(金)
ティータイム 開場 13:30 開演 14:00
ディナータイム 開場 18:15 開演 19:00
- 料 金 ティータイム 1,500円
(ケーキセット付)
ディナータイム 5,000円
(ビュッフェ形式の食事付)
- 出演者 Otsuka Megumi Pangaea
加納新吾(ピアノ)
長谷川朗(テナーサックス・ソプラノサックス)
大塚恵(ベース)
中村雄二郎(ドラムス)
- チケット取扱い
伊賀市文化会館・青山ホール
電子チケット ◆ teket



すうこうどう寄席 Vol.32 「真夏の怪談寄席」

昨年8月の台風10号の影響により残念ながら中止となった「怪談落語」の振替開催決定！

- 日 時 7月12日(土)
開場 18:00
開演 18:30
- 会 場 史跡旧崇広堂
- 料 金 1,000円(自由席)
- 定 員 80名
- チケット取扱い
伊賀市文化会館・青山ホール・史跡旧崇広堂
電子チケット ◆ teket
- 出演者 桂 笑金・笑福亭 喬龍



桂 笑金

笑福亭 喬龍

BUNTO EVENT INFORMATION

第17回IGA地域情報交流カフェ
IGA流ワールドカフェ方式

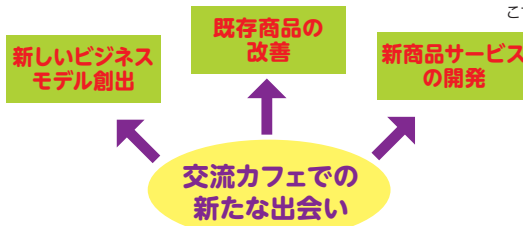
- 日 時 7月25日(金)18:00～20:30(受付17:30)
 ■会 場 ゆめテクノ伊賀テクノホール
 ■料 金 無料
 ■対 象 中小事業者・小規模事業者・起業・創業をお考えの方、起業して間もない方・新事業を検討中の方、起業に関心のある方・伊賀地域に移住して起業したい方など
 ■定 員 先着50名
 ■申込方法 申込フォーム・電話・ファックス
 ■申込締切 7月22日(火)17:00
 ●ゆめテクノ伊賀 ☎41-1061(平日8:30～17:15)
 FAX 41-1062
 E-mail info@yumetechno.jp

共創の糸口をつかむ

カフェで友達と楽しい会話をするように、
同時に出会いを楽しみましょう！



申込フォームは▲
こちら



6. 7 (土)

7. 6 (日)

化石が語る太古の世界

伊賀市出身の北田稔氏(伊賀盆地化石研究会 北田化石展示室館長)が採集した化石たち。平成29年に発見したナマズ属頭蓋骨も初披露します。化石に興味を持ち始めて60数年―北田稔氏の集大成となる展示をぜひご覧ください。

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎
料 金 一般300円(高校生以下無料)

《関連イベント》

■特別講演会「古琵琶湖層群から産出したナマズの頭蓋骨について」

【日時】6月8日(日)13:30～

【会場】阿保地区市民センター会議室

【講師】大江文雄(奈良文化財研究所客員研究員) 【定員】先着50名

【申込】青山ホール ☎0595-52-1109 または、右の二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申込みください。

■GALLERY TALK「化石が語る太古の世界」

【日時】6月22日(日)13:30～

【講師】北田稔(北田化石展示室館長) 【定員】先着15名

【申込】青山ホール ☎0595-52-1109 または、右の二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申込みください。

■WORK SHOP「化石のクリーニング教室」(化石のプレゼント付)

採集してきた化石標本の余分な岩石や泥を取り除いてきれいに整形する化石クリーニング教室。

自分だけのオリジナル標本を完成させよう。

【日時】6月14日(土)、21日(土)、28日(土) 各日10:00～11:30

【対象】小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴) 【定員】各日先着10名

【持ち物】手袋、持ち帰り用袋、あればゴーグル

【申込】右の二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申込みください。



イガタニシ



ワニの歯



10:00～16:30
(入館は16:00)
火曜日休館

《6/14日申込》

《6/21日申込》

《6/28日申込》



7.19 (土)

8. 3 (日)

生活工芸展2025

全国で活躍する工芸作家の作品が一堂に集結します。史跡旧崇広堂と入交家住宅の2会場に分け、史跡旧崇広堂では現代の暮らしに自然に溶け込み、手に取るたびに心を豊かにしてくれる工芸品の数々を展示・販売。入交家住宅では、「作り手の愛用品―湯呑―」と題し、作り手自身が長年愛用している湯呑には、作り手の眼差しと、その器に込められた思いが静かに表れています。素材・形・色合い―さまざまな湯呑とともに、作り手たちの言葉も合わせて紹介します。日本で受け継がれし工芸品を生活の一部とし、日々の中にある美しさ、豊かさ、そしてその温かさを見直す機会になればと思います。

会 場 史跡旧崇広堂・入交家住宅

料 金 入場無料 ※作品の販売等は有料

出 展 全国の工芸作家約65名

共 催 gallery yamahon 山本忠臣

9:00～17:00
(最終日16:00まで)
火曜日休館



7.20 (日)

9. 8 (月)

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 企画展

「月光～穠月明の夜の景色Ⅱ」暗闇で見る光の世界

穠月明は月光の下で美しい景色をたくさん描いています。月光に輝く水面や白く浮かび上がる雪や花、寺院や仏像は夜だからこそ、そこに神秘的な空間がうまれます。今回はそんな作品を照明を消した暗がりの中、キャンドルライトで照らしながら月夜の世界を体験していただきます。また、金屏風や仏像を暗いお堂の中のようにキャンドルで照らし出す等、光りの演出を試みます。暗がりの中でこそ見えてくる光りと影のアートをご覧ください。

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎

料 金 一般300円(高校生以下無料)

■夏休みの工作「まわる灯籠(とうろう)をつくって、光りであそぼう」(要予約)

【開催日】7月26日(土)、27日(日) 【時 間】10:00～12:00

【持ち物】ハサミ、カッター、定規、セロテープ、スティックのり、鉛筆、雑巾(タオル)

【参加料】500円 観覧料100円引き割引券付き

【講 師】上田 慎二(二紀会 準会員) 【定 員】各回先着15名/小学生以上

【申込受付】ゲルグフォーム(二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。)

【申込締め切り】6月18日(水)0:00～7月10日(木)23:59

■ギャラリートーク「夜の景色」

【開催日】8月9日(土)、8月23日(土) 13:30～ 【お申込】不要(観覧料のみ必要)

■近郊ハイキング「名峰 伊賀富士・尼ヶ岳に登る」

【開催日】9月6日(土) 【時 間】10:30～15:00 【持ち物】お弁当、飲み物、雨具、防寒着等

【参加料】300円(観覧券付き) 【定 員】先着15名 【案 内】学芸員 穠月大介

【申込受付】青山ホール ☎0595-52-1109 【申込締め切り】7月26日(土)10:00～8月21日(木)17:00



10:00～16:30
(入館は16:00)
火曜日休館

BUNTO EVENT INFORMATION

6. 7 (土)
▼
6. 8 (日)

伊賀華道協会創立10周年記念花展 花ものがたり 新たな始まりへ

創立10周年を迎える伊賀華道協会の記念花展。華道9流派からなる同協会所属の会員による創作いけば70作品と華道6流派の大作6点が伊賀市文化会館の空間を彩る。

会 場 伊賀市文化会館
料 金 入場無料
出 展
伊賀華道協会
池坊・小原流・御室流・
華道本能寺・甲州流・
嵯峨御流・草月流・
東福寺末生流・末生流



10:00~17:00
8日は16時迄

6.11 (水)
▼
6.15 (日)

花岡洋三作品寄贈記念展 FRAGMENTS OF THE SELF

関西美術文化協会展等で活躍する伊賀出身の画家「花岡洋三」氏の伊賀市及び伊賀市文化都市協会への作品寄贈を記念した展覧会。

会 場
伊賀市文化会館
ホワイエ他
料 金
入場無料
出 展
花岡洋三



9:00~17:00
15日は16時迄

第56回チャリティーコンサート

- 日 時 7月20日(日)
開場13:00 開演13:30 (終演16:30予定)
■料 金 前売り800円 当日1,000円
■チケット取り扱い 各中高吹奏楽部、伊賀市文化会館
■共 催 伊賀吹奏楽連盟
■お問い合わせ 電話65-1726 (桔梗が丘中学校 坂岡)



「親子遊び体操」参加者募集

親子で一緒に楽しく運動しましょう！
お気軽にご参加ください♪

- 場 所 阿山B&G海洋センター
(伊賀市川合3376-7)
■日 時 7月~9月(月2回)
木曜日 10:00~11:00
①7/10 ②7/24 ③8/7
④8/21 ⑤9/11 ⑥9/25
■料 金 4,500円(6回コース) ※初回に徴収します。
■定 員 20組程度 ※先着順
■対 象 よちよち歩きから3歳半くらいまでのお子様と保護者
■指導者 三重県幼児体育研究会フルーツバスケット指導員
■申込方法 6月12日(木)13:00からTEL24-1184で受付



Let's YOGA in しらさぎ

誰でも始めることができ、アーサナ(体操)が完成しなくても十分に効果が得ることができます。
ゆっくりとした動きで行うことで、自分の内部感覚を見つけることができ心身ともに調和し、自律神経を整える効果があります。



- 日 毎週水曜日 12回コース
7月2日~9月24日
※8/13休講
11:00~12:00
所 しらさぎ運動公園 会議室
料 6,000円
対 一般(16歳以上)
- 定 25名
※先着順。定員になり次第締切。
講 矢野 妙子 先生
受 6月11日(水)13:00から
TEL 24-1184で受付
※1回のお電話で2名まで受付

リンパストレッチ

ゆったりとした動きでリンパ節を刺激することで、リンパの流れを良くし、体内に溜まる老廃物をデトックスする体操です。
自力整体術の動きを取り入れ、骨盤、肩甲骨を矯正するので、姿勢が改善され、スタイルが良くなる効果があります。



- 日 毎週金曜日 12回コース
7月4日~9月26日
※8/15休講
13:00~14:00
所 しらさぎ運動公園 会議室
料 6,000円
対 一般(16歳以上)
- 定 25名
※先着順。定員になり次第締切。
講 高橋 一代 先生
受 6月13日(金)10:00から
TEL 24-1184で受付
※1回のお電話で2名まで受付

Let's YOGA in 市民体育館

YOGAの深い呼吸と全身を使って体幹を鍛えることで、身体の歪みを正し、心の安定まで効果が期待できます。
リラックスしながら無理のない動きを行い、ストレス解消、体力増進に効果的です。



- 日 毎週金曜日 11回コース
7月4日~9月26日
※7/11・8/15休講
11:00~12:00
所 伊賀市民体育館 管理棟
料 5,500円
対 一般(16歳以上)
- 定 25名
※先着順。定員になり次第締切。
講 錦 真奈美 先生
受 6月13日(金)9:00から
TEL 24-1184で受付
※1回のお電話で2名まで受付

マットエクササイズ

- 日 毎週月曜日 10回コース
7月7日~9月29日
※7/21・8/11・9/15休講
11:00~12:00
所 伊賀市民体育館 管理棟
料 5,000円 対 一般(16歳以上)
定 30名
※先着順。定員になり次第締切。
講 藤川 恵美 先生
受 6月9日(月)9:00から
TEL 24-1184で受付
※1回のお電話で2名まで受付

ピラティス

- 日 毎週木曜日 12回コース
7月10日~10月2日
※8/14休講
11:00~12:00
所 伊賀市民体育館 管理棟
料 6,000円 対 一般(16歳以上)
定 30名
※先着順。定員になり次第締切。
講 藤川 恵美 先生
受 6月12日(水)9:00から
TEL 24-1184で受付
※1回のお電話で2名まで受付

日 日時 所 場所 料 金 定 定員 講 講師 対 対象者 受 申込受付

編集 後記

大阪・関西万博が開幕して1ヶ月半ほど経った。開幕前のネガティブな報道もあって期待していなかったが、行ってみたら思っていた以上に楽しかった。

会場に入ると世界最大の木造建築物「大屋根リング」の迫力に圧倒される。リングの上から会場を眺めれば、海外パビリオンの華やかさが目立つ。各国の文化や伝統、テーマなどからデザインされたユニークな建物は、見るだけで心が躍る。

異文化交流で大事なことは、勇気をもって相手の文化に飛び込んでみること。150以上の国や地域が参加している今回の万博は、異文化を体験できるまたとない機会である。パビリオンで海外スタッフとも話をしたが、皆さん日本語も上手で、展示を通じて伝えたいテーマをしっかりアピールしていた。

大阪・関西万博の公式ホームページには「万博には、人・モノを呼び寄せる求心力と発信力があります」と書いてある。若い人にはぜひ行ってもらい、異文化の違いを感じてもらいたい。

(広報事業委員 木宮 康介)

BUNTO TICKET

6月22日(日)

開場 14:15 開演 15:00

クラシックのいろは2025 Vol.1
音楽史の革命! 幻想的で色彩豊かな旋律美【出演者】指揮・ナビゲーター: 寺岡 清高
ヴァイオリン: 大谷 康子
管弦楽: 大阪交響楽団【プログラム】
・ヴァイオリン協奏曲第1番/ブルッフ
・交響曲第3番「英雄」/ベートーヴェン

会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 発売中 ◆ teket

■プレミアムシート 3回セット券7,500円〔販売期間~6/22(日)〕※残席わずか

■レギュラーシート Vol.1~Vol.3各1公演

一般3,000円/SaMaZaMa Club会員2,800円/高校生以下800円

7月5日(土)

開場 13:30 開演 14:00

ぶんとチャイルドクラシックプログラム2025
キッズクラシック Vol.1

【出演者】大阪交響楽団アンサンブルメンバー

・奥本 華菜子(フルート)
・村上 慈(ヴァイオリン)
・原 真奈美(ピアノ)
・谷田 奈央(司会・うた)

会場 青山ホール

料 金 自由 6/8(日) 発売 ◆ teket

小学生以上500円 子ども(0歳~小学生未満)100円

※推奨: 3歳~年長児(0歳~2歳入場可)

7月12日(土)

開場 13:30 開演 14:00

bimonthly Concert Vol.50

サクソフォンとピアノの対話
~運命的なしらべ~

【出演者】

菅原小百合(サクソ)

宮崎愛理(サクソ)

的場麻理子(ピアノ)



会場 伊賀市文化会館 舞台上 特設ステージ

料 金 自由 発売中 ◆ teket

一般 1,000円

7月24日(木)

【昼の部】開場 14:30 開演 15:00 【夜の部】開場 18:30 開演 19:00

TAIRIKプロデュース
古澤 巖の品川カルテット
Concert2025 in伊賀

【お昼のフリーコンサート】

13:00~13:30

入場無料(未就学児入場可)



会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 発売中 ◆ teket

一般5,500円 SaMaZaMa Club会員5,200円

9月7日(日)

開場 13:30 開演 14:00

bimonthly Concert Vol.51

ドイツ・ロマン派の歌心

【出演者】

米川かなで(ピアノ)



会場 伊賀市文化会館 舞台上 特設ステージ

料 金 自由 7/12(土) 発売 ◆ teket

一般 1,000円

電子チケット ◆ teket

の購入サイトはこちらから



ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月 1日(日) 13:00	民謡やよい会第35回発表大会	無 料	民謡やよい会 ☎0595-23-7617 (会主 中野弥生)
6月25日(水) 18:30	上野同和教育研究協議会第1回連続講座	な し	上野同和教育研究協議会 ☎0595-51-5994
6月29日(日) 13:30	令和7年度 里親について考えるつどい 映画上映会 私の家族	無 料	社会福祉法人 名張厚生協会 里親支援センター「ほっこり」 ☎0595-41-1144 (政本)
7月 5日(土) 13:30	いきいき未来いが2025	無 料	伊賀市男女共同参画センター ☎0595-22-9632 (永井口英哲)
7月26日(土) 13:00	夢グループ20周年記念コンサート	プレミアムチケット: 8000円 SS席: 6800円	夢グループ ☎0570-666-443

青山ホール

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月15日(日) 13:30	1st. Ho'ike	無 料	阿保地区住民自治協議会 ☎0595-52-2000
6月22日(日) 11:30	カラオケ・舞踊親睦発表会	無 料	カラオケランドばんぼこ ☎090-5034-9776
6月28日(土) 13:30	青山老連福祉大会 第2部 芸能大会「シリウス」	無 料	伊賀市青山老人クラブ連合会 ☎0595-55-2111
7月 6日(日) 14:00	アンサンブルの楽しみ Vol.3 ~ピアノトリオ~	1,000円	(公財) 前田教育会 ☎0595-24-5511
7月13日(日) 16:30	第38回 青山夏まつり	無 料	第38回 青山夏まつり実行委員会 ☎0595-52-2000 (阿保地区市民センター内)

【お問い合わせ】 (公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>

伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015 青山ホール ☎0595(52)1109

次の発行は2025年8月1日号になります。